月刊
新翔タイムズ
第72号
新翔タイムズ編集室
発行・熊野新聞社

夏の高校野球選手権和歌山大会

たくさんの応援に感謝

第96回全国高等学校野球選手権和歌山大会が11日に開幕した。新翔高校は大会第2日の第1試合に登場し、有田中央高校と対戦した。土曜日ということもあって保護者・生徒・ＯＢ約200人が紀三井寺球場へ応援に駆けつけた。

いざ、試合開始

2塁打を打って思わずガッツポーズ

力投する森浦君

スクイズ成功せず

3点目のタイムリー

涙の逆転負けも健闘たたえる

指示を出す堀木監督

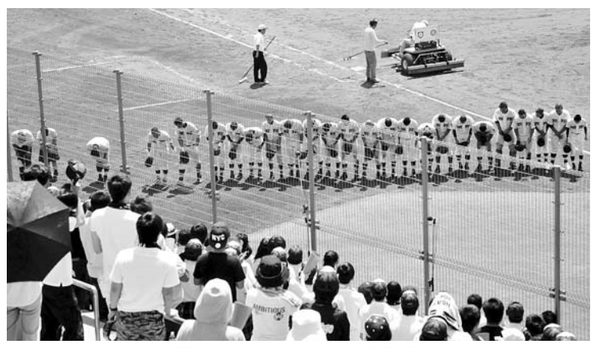
大ピンチに庄司主将が伝令に

序盤から新翔ペース。3回に1死2塁から西君が中前打、相手センターがジャッグルする間に先制。4回には岡部君がタイムリー、7回には西君が左中間へタイムリーを放ち試合を優位にすすめ、勝負は終盤へ。そこまで踏ん張ってきたエース森浦君に疲れが見え始め、7回裏に1死満塁の大ピンチを迎えた。何とか併殺で切り抜け、まだ流れは新翔に。

生徒たちも試合開始直後は応援の仕方がわからず、少し寂しいスタンドであったが、回を重ね、点数が入るたびにどんどん盛り上がり、大きな声で声援を送っていた。選手とスタンドが一体となって、いい雰囲気で進んでいたが、8回裏・無死満塁のピンチを背負うと、ミスが重なりついに逆転を許しそのまま押し切られてゲームセット。

ショックで涙を流す選手、負けが信じられない応援団。残念な結果となってしまった。一昨年、新翔高校になって初めて紀三井寺で流れた校歌をもう一度聞くことはできなかったが、選手たちは最後までよく頑張ってくれた。

「残念ながら負けてしまったが、選手はよく頑張ったと思います。たくさんの人に応援していただきありがとうございました」部長として初めて夏の大会を経験した矢野部長が語ってくれた。


試合終了後、スタンドの応援団におれ

応援団も燃えました

目標立て頑張って
1学期終業式

新翔高等学校（永石和校長）では7月18日（金）に1学期終業式が行われた。

式辞の中で永石校長は、「外部の方から新翔生はよくあいさつをしてくれるという評価をしていただいている。また、生徒会やクラブ活動の一環として朝の清掃・ごみ拾いをして学校を美しくしてくれている。これも一つの伝統であり、誇りを持てるように良い伝統を築いてほしい。3年生は希望進路の実現に向けて頑張ってほしい。1・2年生には目標を立てて頑張ってほしい」と述べた。

続いて表彰式が行われ、「明るい町づくり」の標語に応募し、2年連続で特選に輝いた2年2組廣崎陽美（ひろさきみなみ）さんと入賞した2人が永石校長から賞状を受け取った。また、クラスマッチの表彰も合わせて行われ、優勝から3位までのクラスに生徒会長宮向井君から表彰状が手渡された。

式終了後、インターハイ出場のバドミントン部・東定史君と近畿大会出場の女子ソフトテニス部・卓球部・水泳部の壮行会が行われた。代表してバドミントン部・東君から「今まで関わってくれた人への感謝の気持ちをこめて頑張りたい。新翔の代表、和歌山県の代表として闘ってきます。」と決意が述べられた。

夢に向かって頑張れ
音楽家 矢吹紫帆さんが講演
1学年

7月11日（金）、第1学年では「産業社会と人間」という授業の中で「地域から学ぼう」をテーマに三重県熊野市在住の矢吹紫帆さんをお招きし講演していただいた。音楽家になるまでのエピソードや数々の苦難を乗り越えて、音楽家になるという夢がかなったことなどを話された。そのことから、「頑張れば自分の夢をかなえることができるんだ」ということを熱く語られた。また、願いをかなえるためには強く願うこと、あきらめない強い気持ちをもつことの大切さも語られた。生徒たちは「即興で演奏できるのはすごいなと思った。また夢に向かって頑張ることの大切さを学んだ」「ためになる話をしていただいてとても良かった。また、歌や演奏やマジックで楽しい時間を過ごすことができた」などと感想を述べた。

仲間との絆深める
クラスマッチ

7月16・17日に晴れ渡った空の下でクラスマッチが行われた。開会式では生徒会長の宮向井君（3年1組）が「クラスで団結して、正々堂々と戦うことを誓います」と元気よく宣誓をした。男子のサッカーは、1日目にグループリーグを行い、そこで勝ち上がったチームが2日目の決勝トーナメントに進むという、ワールドカップと同様の形で試合が進められた。

また、女子のバレーボールは、昨年と同様で学年ごとのトーナメント形式で試合が進められた。各コートでは白熱した試合が行われ、それぞれのクラスが力を合わせて頑張っている姿が見られた。

結果、男子のサッカーは3年1組が優勝、1年3組が準優勝、教員チームが第3位となった。また、女子のバレーボールでは、3年生は5組Ａチーム、2年生は1組Ａチーム、1年生は5組Ａチームがそれぞれ学年で優勝した。さらに、教員チームを含めた女子のチャンピオンリーグでは、3年5組Ａチームが総合優勝に輝いた。クラスの団結力や、仲間との絆が深まった2日間となった。

校外活動

大峯奥駆道の整備に参加
建設技術部

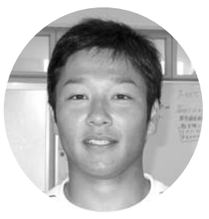
建設技術部は、今年度同好会から部に昇格しました。それに伴い、新たな取り組みとして、大峯奥駆道の整備や保全を行っている新宮山彦ぐるーぷの活動に参加させていただいています。その中で、道普請や小屋の維持や管理を体験することで、建設に関する知識や技術・技能を身に付けようとしています。

さらに世界遺産の道を歩くことで、その素晴らしさを体験したり、地域学習を深めたりしています。これまでに、2回参加しています。6月14日（土）は顧問と生徒2人が行仙宿に行き、水汲みや薪（まき）割りの体験をしました。宿までの道程は大変険しいものでしたが、山頂付近での澄み切った空気の中での活動は、大変貴重なものとなりました。

7月20日は、顧問と生徒3人が参加しました。この日は、持経宿と平治宿に行きました。持経宿まで車で移動し、そこから平治宿までは約1300年の伝統がある大峯奥駆道を1時間歩きました。平治宿では、棚設置のための作業や水汲み、薪の整理などを体験しました。持経宿では、薪の蔵出しや薪割り作業を体験しました。

◆先生の紹介◆

矢野健太郎先生



初めまして。本年度から本校で勤務させていただいております、保健体育科の矢野健太郎（やのけんたろう）と申します。

本年度は3年生の副担任と野球部の顧問をさせていただいております。

私は海南市出身ですが、大学時代は茨城県で過ごしていました。和歌山での生活は6年ぶりと、かなり久しぶりになるのですが、周りで和歌山弁が飛びかっているのを聞くと心が落ち着くというか、安心するというか…。やはり自分は和歌山県人なのだなと実感しています。専門のスポーツは野球で、小学生の頃から大学の4年生までずっと野球一筋で頑張ってきました。新翔高校でも野球部に関わらせていただくことになり、とてもわくわくしています！特に和歌山県は高校野球の注目度が高く、野球部の活躍が学校や地域の活性化にもつながると考えています。生徒には野球を通して人間的に成長してもらいたいですし、生徒たちの取り組みが地域の方々にも感動を与えられるよう、指導していきたいと思っています。

さて、新翔高校での勤務も4カ月が経とうとしています。今年度が教員生活1年目ということもあり、はじめは緊張していた部分もあったのですが、明るく元気な生徒のみなさんや先輩の先生方に暖かく迎えていただき、とても楽しい毎日を送ることができています！まだまだ教師としては未熟ですが、生徒のみなさんと共に成長していきたいと考えています。

また、みなさんに負けないくらい明るく、元気よく、若々しく頑張っていこうと思います！どうぞよろしくお願いします。